

雑誌「地域創造」46号 国内掲載記事概要一覧(掲載順)

特集1「コロナ時代」
兵庫県立芸術文化センター 兵庫県西宮市
▼公立文化施設運営、新型コロナウイルス感染症
[主な実施団体] (公財) 兵庫県芸術文化協会、兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC) [主な施設] 兵庫県立芸術文化センター 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22
新型コロナウイルス感染症に対応したプログラム。兵庫県立芸術文化センターは阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして2005年11月に開館。その原点を踏まえ、全国に先駆けてオンラインでのプロジェクトや感染症対策を施したコンサートを実現するための実験を実施。付属オーケストラ(PAC)と共に積極的に事業を展開。
ロームシアター京都 / 京都市
京都市
▼公立文化施設運営、新型コロナウイルス感染症、全館イベント、オンライン配信、文化政策
[主な実施団体] (公財) 京都市音楽芸術文化振興財団 / 京都市 [主な施設] ロームシアター京都 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
新型コロナウイルス感染症に対応したプログラム。映像技術やオンライン配信にも詳しいアーティストの山城大督をディレクターに起用し、10名の技術者による専門チームを編成してライブと配信のハイブリッド型による「プレイ!シアター at HOME 2020」を実施。また、京都市による文化芸術活動およびアーティスト支援策。
SPAC-静岡県舞台芸術センター
静岡市
▼公立文化施設運営、新型コロナウイルス感染症、オンライン配信
[主な実施団体] (公財) 静岡県舞台芸術センター [主な施設] 静岡芸術劇場 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 静岡県舞台芸術公園 〒422-8003 静岡市駿河区平沢100-1
新型コロナウイルス感染症に対応したプログラム。「SPACの劇配!」と題し、自宅に居ながら電話で俳優による名作の生朗読を聴くことができる「でんわde名作劇場」、衣裳・美術スタッフが学校などに出かける「SPACアートおとどけ工房」、高齢者施設などに出張して非接触型で行う「SPAC出張ラヂオ局」などを展開。
特集2「暮らしとアート」
IDEA R LAB
岡山県倉敷市
▼クリエイティブリユース、遊休施設活用、地域再生
[主な実施団体] (有) イデア [主な施設] IDEA R LAB 〒713-8122 岡山県倉敷市玉島中央町3-4-5 日常生活やものづくりの現場から出る廃材を資源として見直し、アート作品やプロダクトに生まれ変わらせる「クリエイティブリユース」。その発信拠点の「IDEA R LAB」が倉敷市玉島地区で多彩なプロジェクトを展開。
国立音楽院 宮城キャンパス / 加美町
宮城県加美町
▼音楽のまちづくり、教育、廃校活用、地域再生
[主な実施団体] (株) 国立音楽院、加美町 [主な施設] 国立音楽院 宮城キャンパス 〒981-4201 宮城県加美郡加美町上多田川字笹沢東1-1 / 中新田バツハホール(加美町中新田文化会館) 〒981-4262 宮城県加美郡加美町一本杉101
2017年4月開校。中新田バツハホールを有する加美町が推進する「音楽と福祉のまちづくり」の新たな拠点。廃校を活用し、楽器製作・修理技術者、ピアノ調律師、リトミック指導者などの人材育成を行う音楽技能習得学校「国立音楽院 宮城キャンパス」を誘致。
珠洲の大蔵ざらえプロジェクト
石川県珠洲市
▼アートプロジェクト、地域再生、遊休施設活用、廃校活用、地域おこし協力隊、市民協働
[主な実施団体] 奥能登国際芸術祭実行委員会、珠洲市、サポートスズ [主な施設] 旧西部小学校体育館 〒927-1321 石川県珠洲市大谷町2-47

「奥能登国際芸術祭2020+」(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2021年に延期)で企画された市民総参加型プロジェクト。高齢者の自宅や蔵に納められた民具などの地域の宝を「大蔵ざらえ」によって収集・調査・整理。その一部をアーティストたちが作品として活用し、旧体育館を使った「劇場型民俗ミュージアム」として発表。

体験レッスン
江原河畔劇場 兵庫県豊岡市
▼クラウドファンディング、遊休施設活用、演劇祭、教育、地域再生
[主な実施団体] (一財) 江原河畔劇場、(有) アゴラ企画、豊岡市 [主な施設] 江原河畔劇場 〒669-5311 兵庫県豊岡市日高町日置65-10
2020年4月開館。豊岡市の「舞台芸術によるまちづくり」の新たな拠点。同市の文化政策担当参与を務める平田オリザが自らの劇団「青年団」と共に移住し、1935年建設の歴史的建造物をクラウドファンディングで集めた資金を活用して劇場に改修。豊岡演劇祭と、2021年に開学する「芸術文化観光専門職大学」と合わせて演劇のまちづくりを実践。

空間のエスプリ
弘前れんが倉庫美術館 青森県弘前市
▼公立文化施設運営、遊休施設活用、PFI
[主な実施団体] 弘前市、特別目的会社「弘前芸術創造(株)」 [主な施設] 弘前れんが倉庫美術館 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1
2020年7月開館。弘前市が約100年前に建設された煉瓦づくりの倉庫をPFI方式により大規模改修し、現代美術館として再生。2002年に元オーナーの呼びかけにより、市民ボランティアと共に奈良美智の展覧会を実施したのがきっかけ。

SCOPE
東海市芸術劇場 愛知県東海市
▼公立文化施設運営、直営、芸術監督、育成団体、市民ボランティア
[主な実施団体] 東海市 [主な施設] 東海市芸術劇場 〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田137(ユウナル東海内)
2015年10月開館。「ひとづくりと賑わいを創出する楽しい広場」をコンセプトにした東海市の直営施設。「東海市文化によるにぎわいづくり市民研究会」により文化施設のあり方を検討。芸術総監督を置き、「東海市民合唱団」「東海児童合唱団」「東海市子どものオーケストラ」「東海市ダンスチームMiakot」を育成するほか、「東海市紅白歌合戦」などのユニークな事業を展開。

パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)
愛知県知立市
▼公立文化施設運営、伝統芸能、アウトリーチ
[主な実施団体] (一財) ちりゅう芸術創造協会 [主な施設] パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) 〒472-0026 愛知県知立市上重原町間瀬口116
2000年7月開館。知立市市制30周年を記念して建てられた複合文化施設。江戸時代から地域に伝わる知立の山車文楽とからくりの継承・発展の拠点として、町の人形連やその垣根を越えた市民文楽座「ちりふ座」の活動を支援。加えて、市民が文化とふれあう多彩な事業を展開。

イラストSCOPE
阿波木偶箱まわし 徳島県徳島市
▼保存会、伝統芸能、継承、育成
[主な実施団体] 芝原生活文化研究所・阿波木偶箱まわし保存会
人形浄瑠璃が盛んな徳島県で途絶えかけていた「阿波木偶箱まわし」を復活する会を立ち上げて継承。箱まわしは、一人遣いの人形を箱に入れて担ぎ、人形遣いと鼓打ちが一組になって正月に家々を廻って門付けする芸能。調査・研究を行うとともに、普及活動を展開。

▼は記事内容に関わるキーワード